

災害現場シミュレーション実践研修

～生き残ったもの同士が助け合うしかない～

災害現場で救出に大活躍したチェーンソーやジャッキも、普段はあまりお目にかからないので、使い方が判らない。でも、コツがわかると意外に簡単？

3月13日に行われた、震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）主催の災害現場シミュレーション研修では、講師に技術系災害ボランティアネットワークコーディネーターの黒澤司さんを迎え、工具の使い方を体験。ヤマヤ物産(有)の釜を使った炊き出しも行き、村上建設工業(株)の村上さんからは、土のう積みの指導も。そんな充実感たっぷりの研修内容をピックアップして紹介します。



ヨン様がい！！



その1：車用のジャッキを使ってヨン様救出！



その2：チェーンソーを使って屋根からヨン様救出！

命を守る3点セット
・ビール
・ジャッキ
・のぎり (チェーンソー)

※ビール(90cm以上)を伸べて救出!
この原理で上げる
マンションの扉もこじあけたり、窓を割って脱出するのにもGood
すき間に木材などを入れ込んで少しずつ上げる
余震に注意!

※車用のジャッキを使って救出!
車用は平面や堅い地面で使用するものなので、不安定な場所では小真重に!

※チェーンソーを使って屋根から救出!
人が上がる、柱をどけることで倒壊する危険性も十分頭に入れて!
まずは頭が入るくらいの大きさをあけて、中を石確りし、安全を確かめながら切り抜けていく
※普段、どこに寝ているか、寝室がどのあたりかを把握しておくとい
先端の上部90度の部分が当たると、自分にはお返ってくる!!
倒れかけた危険なブロックを元へブロックを置く、おどが楽
ハンマーで重りやすい

※フチアドバイス大ハンマー
この原理で楽になる
ハンマーで重りやすい

※フチアドバイス大ハンマー
この原理で楽になる
ハンマーで重りやすい

まかないくん登場!

黒澤さんのご紹介で、今回「まかないくん」が名古屋に。阪神・淡路大震災をきっかけに製造され、様々な被災地で改良を加えられた大量炊き出し器で、LPガス、灯油、薪、廃材と、何でも燃やせ、オプションで飲料水消毒、シャワーの給湯、足元暖房なども設置できるという優れもの。当日は蒸し器を使って熱々のふかし芋が振る舞われました。



総発売元：東京都葛飾福祉工場 <http://www.fireman21.net/>

知っておくと便利! 土のう袋ノウハウ

ひものしぼり方
① 2本並べて
② ひもを巻き
③ 輪を絞る

① 土のうは入すぎない!
6分目が取れが楽

② すき間なく積み重ねて
踏んざらにすき間をはくす

③ 2段目はレンガ積みのように半分ずらして積み

水を逃がす方向を決めて並べ替える

土のうに入ったダンボールでもOK!
水の入ったダンボールを入れてもGood!

ケブルシートで強度UP!

水害ボランティア虎の巻

「水害の被災地では一体何が必要なの?」そんな問いに答えてくれる「虎の巻」。作業をする格好からあると便利な道具まで、イラスト入りのわかりやすい解説付きです。ボランティア目線で作られた虎の巻には、普段の備えにも応用できるヒントが盛りだくさん!是非参考にしてみてください。
★RSYホームページからダウンロードできます。



<http://rsy-nagoya.com/rsy/common/pdf/suigai-manual.pdf>

7/31~8/1

あいち・かりわ交流企画

今年は刈羽村(2007年新潟県中越沖地震被災地)から8名の方が愛知に来てくださいました。

まず、災害ボランティアコーディネーターなごや主催の学習会にて、「その時人はどう動いたか、町はどうだったか」をテーマに、当時大変だったことなど、今後に生かせる経験をお話いただきました。その後、おしゃべり交流会では、愛知・名古屋名物を囲んでおおいに盛り上がりしました。

2日目は、東山動物園の観光やデパ地下での買い物を楽しんでいただいた後、RSY会員によるミニコンサートを行いました。予想以上の猛暑でしたが、刈羽の方々からは「とっても楽しかったよ」とのお声をいただきました。

年に一度でもこうした交流の機会があることによって、つながりが深まっていくことは大切なことだと思います。

(事務局 藤田)

2010年梅雨豪雨水害

山陽小野田市緊急支援

今年の7月は、活発な梅雨前線の停滞により全国で豪雨災害が相次ぎました。山口県山陽小野田市では7月15日未明からの雨で厚狭川が氾濫し、床上・床下合わせて800戸以上が浸水、断水の被害にも見舞われました。

RSYでは、16日~25日まで、震災がつなぐ全国ネットワークのメンバーとしてスタッフ松田・藤田らが緊急支援に入った他、先日結ばれた協定に基づき中日本冰糖(株)から冰糖を送りました。また、現地ボランティアセンターになごや災害ボランティア連絡会から資器材一式を送付しています。支援の報告書はRSYホームページからご覧ください。

(事務局 松田)